

かめやま教育通信

第51回



乳幼児期の子育て 【0歳～5歳までの子育てのポイント】

市では、子どもたちが希望に輝き心豊かに自分の人生を歩めることを願って、『発達段階に合わせて みんなで支え合う子育てアドバイス』というリーフレットを作成しています。

今回は、0歳から18歳までの発達の中で、愛着(深い情緒的な絆)が形成される乳幼児期について、幼稚園や保育園、認定こども園で大切にしていることや子育ての大切なポイントをまとめました。ぜひ、子どもの成長について考えるときの参考にしてください。

子育ての大切なポイント

0歳～1歳半 乳児期

絶対的な安心感・信頼感を作る時期



亀山市の各園では

ひざの上で抱っこして、目を見てゆっくり話を聞いています。

「だっこ、うれしいな」スキンシップを図る

赤ちゃんの脳が安心し、ストレスが和らぎます。

1歳半～3歳 幼児期前期

怒ったり泣いたり、駄々をこねたりしても受け止めてもらえる安心感を作る時期



何でも「イヤイヤ・・・」。気持ちが落ち着くまで、否定せずにしっかりと話を聞いています。

「じぶんで、じぶんで」ゆっくり、繰り返し教え、できたらたくさん褒める

自分に自信が持てるようになります。

3歳～5歳 幼児期後期

養育者がそばにいないときも、必要なときは助けてもらえることが理解でき、ほかの人と関係を作ることができるようになる時期



自分でできることが増えてくるので、ささいなことでもできたことを褒め、共感するようにしています。

「何でもチャレンジ」挑戦する姿を見守る

自分で考えて積極的に行動できるようになります。

このような乳幼児期の成長を経て、その後の就学につながっていきます。

・・・(略)・・・教育は子供たちに夢を見させる作業です。窓を開けて、「ほら、世界は広い、可能性がいっぱいあるよ」と教えます。子供たちが大胆に夢を見る事を励まします。子供たちが夢を見つけたら、夢に向かうために、読み書き、専門知識などを教えます。

そして、子供たちに歩き出す勇気を与え、途中で転んでも、立ち上がる強さも教え、夢が達成できた時には謙虚な心、分かち合う広い気持ちも教えます。もし、これらの目標が実現できたら、私たちの教育は大成功だと思います。・・・(略)・・・

『未来に向けた教育』(アグネス・チャン),『時報 市町村教委』No.291(令和3年3月)全国市町村教育委員会連合会P19より引用

子育ては、わかっているもうまくはいかないものです。独りで悩むのではなく、幼稚園・保育園・認定こども園、地域の機関等に気軽に相談してください。

問合せ先 教育委員会事務局学校教育課教育支援グループ(☎84-5076)
子ども未来課子育てサポートグループ(☎96-8822)